

2009年度 社会学研究科 研究成果発表会 / 大学院GP 研究/調査成果発表会 プログラム

セッション	時間	発表者	指導教授	発表テーマ (予想)
相互行為・コミュニケーションの諸相	09:30~10:40 (各報告15分、 各コメント5分、 質疑応答15分)	宋 奉虎	大村	インターネット上における代案運動に関する研究 —韓国における宗教改革運動に対する構造的分析を中心に
		尾添 侑太	宮原	独話的表現の可能性—「詩のボクシング」からコミュニケーションへ
		吹上 裕樹	宮原	クラシック音楽聴取のオタク化—クラシック音楽聴取の分析にむけて
		総括ディスカッション(コメンテーター:岩佐、前村)		

休憩 10分

文化・社会資源へのまなざし	10:50~12:05 (各報告15分、 各コメント5分、 質疑応答15分)	佐野 市佳	奥野	「肉用牛農家」の社会的意味
		徹 登	古川	生態移民政策の展開と牧畜民の生活変容 —中国、内モンゴル自治区の事例をとおして
		木原 弘恵	古川	地域行事の運営にみる地域の時間と空間の変化
		総括ディスカッション(コメンテーター:葛西、雪村)		

昼休み 12:05 - 13:05

新しい公共性とその他者	13:10~14:25 (各報告15分、 各コメント5分、 質疑応答20分)	松本 隆志	荻野	変身論から見た場合の非行 —非行は「子供」から「大人」「男」への変身
		前田 豊	高坂	階層認識過程を考慮した階層意識の数理モデル
		稲津 秀樹	阿部	「多文化共生イベント」における<ナショナルなまなざし>の反転可能性 —ある日系南米人第2世代のアイデンティティ・ポリティクスを事例に
		総括ディスカッション(コメンテーター:山北、谷村)		

休憩 10分

記憶・表象のポリティクス	14:35~16:05 (各報告15分、 各コメント5分、 質疑応答20分)	中川 和亮	難波	ライブエンタテインメントの可能性—広告コミュニケーションの一例として
		福田 雄	大村	無宗教式の慰霊とはなにか—長崎市原爆慰霊を事例として
		濱田 武士	荻野	空間の生産—原爆ドームの保存の過程
		西牟田 真希	荻野	記憶をほりおこす —三池炭鉱に関する出版物・資料の保存から
		総括ディスカッション(コメンテーター:荒木、辻)		

休憩 10分

総括	16:15~17:15	高坂先生 参加者全員	全体へのコメント&総合ディスカッション
----	-------------	---------------	---------------------

*司会・進行 : 川端浩平、白石壮一郎(大学院GP 特任助教)